

前田のりよし 議会News Vol.28

ごあいさつ

皆様方には、日頃より県政へのご指導・ご鞭撻を賜りまして誠に有難うございます。

8月の豪雨では県下に大きな被害をもたらしました。

犠牲になられた方のご冥福をお祈りするとともに、被害にあわれた方へお見舞い申し上げます。今回は私が令和7年第2回定例会で質問に立たった内容を含め、上半期の近況の報告をさせていただきます。引き続き、県民の皆様からの声を県政にしっかり届けて行く決意でございます。どうぞご覧ください。



【令和7年第二回定例県議会にて】

19回目の質問に立つ！！

日頃の調査活動、意見聴取の中から様々な項目を質問!!即時方向性を示すもの、認識を共有してしっかり検討するもの、考え方を根本から議論するもの等、多角的に議論を展開いたしました。

【質問内容】

- 介護職員処遇改善等に関する県の考え方
健康福祉部長 答弁
- 公共施設マネジメントの観点からスポーツ施設を考える
1. 地方公会計と公共施設における民間資金の活用
総務部長 答弁
2. スポーツ施設整備
木村知事 答弁
- 電力需要への対応とエネルギーシフトへの挑戦、水素産業の育成
商工労働部長
- 不妊治療における県の取組
健康福祉部長 答弁
- GIGAスクール構想の下で整備された端末の更新等
1. GIGAスクール端末の更新予定と旧端末の処分方法
教育長 答弁
2. 県庁内の情報機器を処分する際の情報流出防止
デジタル戦略担当理事 答弁
- 事業承継の取組
商工労働部長 答弁
- 特殊詐欺の被害拡大を防げ 【要望】



議会質問の様子は
こちらをご覧ください



【その他 活動報告】



仲介の役をいただいた熊本大学
サテライトオフィス開所式で祝辞



TSMC関連で中野洋昌国交大臣への
要望活動に地元首長と同行



令和7年度「水俣病犠牲者慰霊式」で献花



校区防災連絡会議で県の取組みを紹介



県の国への予算要望で木村知事に同行



各地で県政報告会を実施！
様々な意見を聞く



校区への防災グッズ寄贈式で
企業代表に謝辞



第一回熊本県一輪車競争大会で
来賓あいさつ



長寿祝賀会で地元先輩方へ
祝福とエールを送る

《前田のりよしプロフィール》

- 1964年8月16日生まれ 61歳
- 桜木小学校、東野中学校、県立第二高等学校、熊本商科大学(現熊本学園大学)卒業
- 学習塾、税理士法人勤務を経て、平成19年熊本市議会議員初当選
平成23年熊本県議会議員初当選 現在4期目
- 資格等：医業経営コンサルタント、CIPFA地方監査会計技術者、
NIE.E(新聞による経済教育)講師指導委員・熊本支部長
- 趣味：スポーツ観戦、旅行

その他、詳しくは
【前田のりよし『誠心誠意』公式Webサイト
【熊本県議会】ホームページをご覧ください。

前田のりよし『誠心誠意』公式Webサイト
<http://maeda-noriyoshi.net/>
前田のりよし公式Webサイト



熊本県議会ホームページ



Instagram



X (旧Twitter)



facebook



住所：熊本市南区南高江6丁目19-50
連絡先：県議会公明党
096-333-2645
携帯：090-1871-6631
Email：maeda@komei-kumamoto.jp

主な質問・答弁内容

介護職員処遇改善等に関する県の考え方 健康福祉部長答弁

《質問》県下の介護職員数は減少傾向にある。介護職の処遇は厳しく、**平均給与は全業種平均より約8万円低い**。介護需要が高まる中、担い手の確保には、持続的な賃上げと業務負担の軽減が必要である。また、訪問介護事業所は特に厳しい状況にあり、**国の補正予算を活用した新たな取組の内容と期待する効果について**尋ねる。

《答弁》国の経済対策を活用した補助金については、**人件費の改善に加え、職場環境改善に向けた取組も支援する**。また、**社会保険労務士等と連携**しながら、介護現場の相談対応や伴走支援を行うことで、補助金による効果と相まって、職員の定着促進や新たな人材確保にも寄与すると考える。訪問介護事業所に対する新たな取組については、**経験年数が短いヘルパーへの先輩ヘルパーの同行費の助成等、実態に応じた支援を行う**。



公共施設マネジメントの観点からスポーツ施設を考える 総務部長・知事答弁

《質問》本県では**7万件超の固定資産台帳が整備されており、公共施設の維持管理等に活用が期待される**。また、国は自治体の施設の建設や運営に官民連携の社会資本整備の検討を促しており、その代表例がアリーナ等の施設ではないか。**スポーツ施設整備に関する検討会議での意見をどう感じ、方向性等を示すのか**。



《答弁》民間の資金や経営ノウハウ等を活用して公共施設の整備等を進めることは有効と考えており、**今後もPFI等、官民連携手法の導入に積極的に取り組んでまいる**。これからのスポーツ施設は、県民の活力向上とともに、国内外からの交流人口を引き寄せる「まちづくりの拠点」、**くまもと新時代を創造する基盤の一つ**と考えており、優先順位を明確にしつつ、その**再生を進めることが重要だと認識している**。県としては、検討会議の意見を踏まえ、**できる限り早期に方向性を決定していきたい。⇒【9月に県立体育館をアリーナとして整備する(発表)】**

不妊治療における県の取組 健康福祉部長答弁

《質問》不妊治療の保険適用が開始され、患者負担軽減や治療機会拡大が期待される。**不妊治療は、身体的・精神的な負担が大きいだけでなく、治療と仕事の両立は多くの患者にとって課題であり、不妊治療を受ける方への支援や治療を受けやすい職場環境づくり等を推進していく必要がある**。対象者のサポートにどのように取り組むのか、健康福祉部長に尋ねる。



《答弁》令和4年度及び5年度に不妊治療を受けた方はそれぞれ約3,400人、より専門的な治療を選択する方が増えていると推察される。**不妊対策事業検討会を設置し、課題等の共有及び人材育成の研修等を行っている**。また、**仕事と両立しながら不妊治療をうける環境づくりのため、よかボス企業も含め、職場の環境整備や機運醸成に努めてまいる**。

【令和7年8月豪雨被害への対応】



8月10日から11日にかけての豪雨被害では県下に大きな被害をもたらしました。被災現場へ行き、被害の現状把握と復旧へ向けての支援策等を関係部署と議論を行いました。犠牲者へのご冥福と被害にあわれたかたへ謹んでお見舞い申し上げます。引き続き、被災された皆様の復興へ向け様々な声を届けてまいります。



政府与党へ木村知事、大西市長と災害対策要望を実施



中野洋昌国交大臣と被災地視察(甲佐町)



中野洋昌国交大臣と被災地視察(玉海市)



中野洋昌国交大臣と被災地視察(美里町)



県庁で木村知事と水害対策の意見交換に赤羽元国交大臣と同行



八代市の河川氾濫現場で意見聴取



個人宅で当時の被害状況を意見聴取



龍峯地区の斜面崩落被害状況を視察



甲佐町のがけ崩れ現場で現場視察



美里町の土石流現場と被害状況を視察